

令和元年度 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会馬術競技場における
衛生管理委託事業に係わる「マダニ駆除計画」に関する第4回有識者会議議事録

日時：令和元年 10月21日（月） 15：30～16：30

場所：農林水産省 会議室（466）

参加者：農林水産省 川崎係長
石塚担当専門官
寺田獣医学博士
(株)アグリマート 白井技術グループリーダー
国際衛生㈱ 富田部長、鈴庄（記）

令和元年度の馬事公苑および海の森公園におけるマダニ調査計画に関して、有識者を交えた現地確認（海の森公園、馬事公苑）、第3回調査結果の報告及び今後の方針確定を目的に、会議を実施した。以下、概要を示す。

【現地確認概要】

海の森公園

調査箇所である西側植林地、東側植林地、駐車場前植林地を確認。

- ・馬が競技の際に通る芝生のコースは草丈が短く、風通しがよくて乾燥しているためマダニの潜伏箇所となるリスクは低いと思われる（寺田様）。
- ・海の森公園にはテント製の厩舎1棟が設置されていた。競技中に馬ピロプラズマ病陽性馬と陰性馬が同居するならば、接触する機会が多くなり感染のリスクは高まると思われる（寺田様）
- ・東側植林地でカラス、トンビなどの大型の鳥類を確認。

馬事公苑

JRA 滝澤様に同行頂き、各エリアや馬の動線などについて解説を受けた。

- ・馬事公苑には、馬やそれに携わるスタッフ用の宿泊施設や麻酔室も完備された設備が建設されていた。
- ・本大会での馬事公苑での協議は夜間に実施される予定。
- ・JRAにてマダニの潜伏箇所となりえる緑地帯の消毒は実施しており、8月開催のプレオリンピック前にも草木がある箇所は全域で消毒を実施。本大会前の2020年6月にも消毒を実施予定。薬剤散布は必要に応じて実施されており、衛生面に非常に留意した管理がなされていた。
- ・馬は馬専用の門から馬事公苑に入り、専用の台に乗せられ、厩舎に入る予定。
- ・現在、厩舎周りにはフェンスが設置されていないが、本大会ではフェンスが設置される

予定。

- ・クロスカントリーコースが設けられているが、競技は海の森公園で行われ、馬のウォーミングアップなどに使用される予定。また、クロスカントリーのコースには通常、水を通過する障害が設けられるとのこと。
- ・武蔵野自然林には人用、馬用の通路が整備されており、馬が武蔵野自然林に立ち入る可能性があるとのこと。
- ・海外、特にヨーロッパでは日本脳炎対策としての蚊対策に関心を持っているとのこと。
- ・ヨーロッパでは、馬ピロプラズマ病陽性馬が多くみられるとのこと。
- ・馬事公苑に関しては、工事完了からオリンピック本大会まで開放される予定はないとのこと。

【会議概要】

第3回マダニ調査の報告

- ・ 第3回マダニ調査について、概要および報告書に基づいて詳細を報告。(鈴庄)
- ・ 馬事公苑、海の森公園とも、フランネル調査、リター層調査でマダニは確認されなかった。
- ・ 海の森公園では、天候の影響で調査を18日と20日に分けて実施した。
- ・ 馬事公苑では、台風による倒木のため武蔵野自然林①～③、工事のため外周内側⑦の調査は実施出来なかった。
- ・ 2種のトラップを用いたネズミ調査を実施。馬事公苑、海の森公園ともネズミは捕獲されなかった。

今後の対応について

- ・ 第4回調査を11月6日から8日(ネズミトラップ回収含む)で計画しているが、この日程で進めて宜しいでしょうか？(鈴庄)
→問題はありません(会議参加者)。
- ・ 現地を確認させて頂き、大変参考になった。海の森公園については、現在の5か所の調査ポイントから特に変更は必要ないと思われます。④の東側植林地に設置されている池は本大会で馬が入る可能性があるため、池周りについても調査を実施してはどうか(寺田様)。
→東側植林地の池は競技で馬が入る予定で、本大会時の水深は50cm位になる予定です(川崎様)。
- ・ 馬事公苑は、以前訪問した際に比べてかなり変化しており、周囲にフェンスが設けられていて小動物の侵入リスクは低減していると思われます。オリンピック本大会まで開放しないことも良い点であると思います。また、馬の動線も確認することが出来ました。現状10ポイントで調査を実施しているが、馬の動線から離れる外周内側⑤と

- ⑦は調査ポイントから省き、馬がウォーミングアップなどで滞在する機会が多いクロスカントリーコースを調査ポイントに加えてはどうか？（寺田様）
- 外周内側⑤と⑦はフェンスが完成する前に小動物の侵入が懸念されるので、調査ポイントとして選定したと思われます（富田部長）。
- 外周内側⑤と⑦については、今後フランネル、リター層調査は実施しないが、ネズミトラップの設置は継続する方針で宜しいでしょうか？（鈴庄）
- その方針で問題ありません（会議参加者）。
- ・ オリンピックで来日する馬について、打ち合わせが実施され、馬ピロプラズマ病陽性馬と陰性馬は分ける方針であるとのこと（川崎様）。
 - ・ 日本脳炎を媒介する蚊の発生リスクは海の森公園は水たまりが多く存在するため高く、馬事公苑は低いと考えられます（白井様）。
 - ・ ネズミを含む小動物を餌とするトンビが海の森公園で確認されているが、これまでの調査でネズミの捕獲はないのは良い傾向であるといえます（寺田様）。
 - ・ これまでの調査でマダニは捕獲されていませんが、来春にマダニが再度確認されることはありますか？（石塚様）
- 外部からも持ち込み、新たな侵入のリスクはあるので、本大会までモニタリングを継続したほうが良いと思います。
- ・ 水に落下したマダニはどの程度の時間生きていますか？（川崎様）
- 1時間などの長時間水に沈めたことはないが、飼育中にマダニを洗浄した際には、5分程度水に入れても生存はしていました（寺田様）。
- ・ 第5回調査はフランネル調査のみ実施で検討しています。12月か来年1月位に実施で検討しています。
- マダニは3月から4月に活動が活発で良く捕獲されます。年度の関係などもありますが、12月もしくは1月にフランネル調査を実施するよりかは3月上旬に実施したほうが良いと思います（寺田様）。

今後の予定

- ・ 第4回現地調査は11月6日～8日で実施予定。詳細な日程が確定後、川崎様に連絡する（鈴庄対応）。
- ・ 第5回有識者会議は第4回現地調査の観察完了後の12月中旬に開催予定。

以上